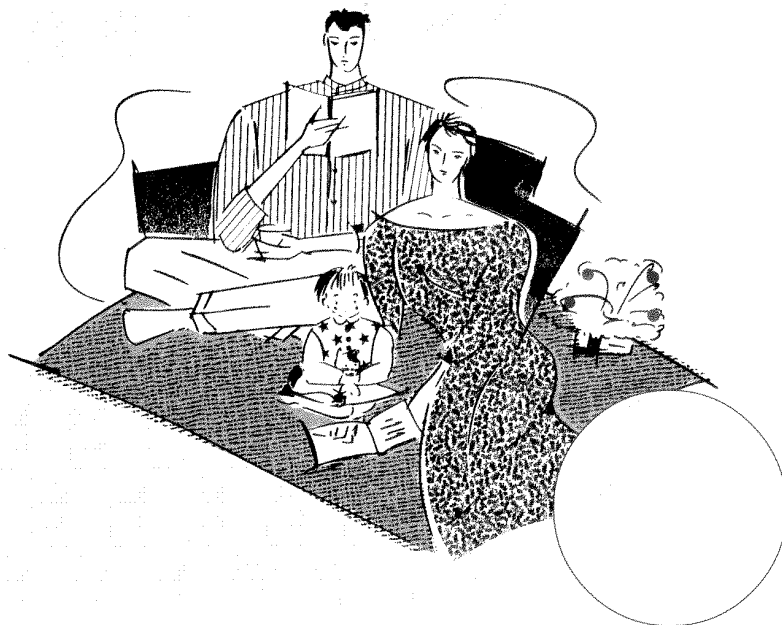
暖房専用熱源機

型　式　名	品名・機器コード	B　L　品　番
GD-1000W	大阪ガス：135-9000型	XS-1200ARS-W
GD-1000W	東邦ガス：XS-1200ARS-W	XS-1200ARS-W
GD-1000W	西部ガス：XS-1200ARS-W	XS-1200ARS-W

取扱説明書

このたびは暖房専用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
この暖房専用熱源機には保証書がついています。内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りのガス会社へご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

販売店名

QC4018-1

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■
この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき、万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠危 険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警 告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 一般的な禁止
 火気厳禁
接触禁止
 分解禁止

 必ず行う
 電源プラグを抜け
 アースを接続せよ

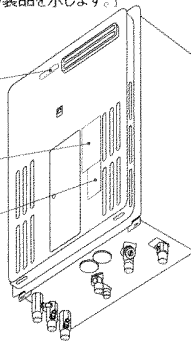
お願い	ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX参照) 参照ページを示しています。

■機器本体の表示について■ 〔図は暖房接続20A (G3/4)オネジの製品を示します。〕

やけど注意
排気口や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。

使用上の注意
使用上の注意について表示しています。

銘板
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

この製品の特長

●最大能力は、11.6kWで、多室暖房に最適です。

●温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房。

●機器の点火・消火は、ファンコンベクター等で室内より操作できます。

●暖房水が少なくなると、自動で補給する自動補給機能付。

お使いいただく前に
☆ 安全に正しくお使いいただくために ―― 1
☆ この製品の特長 ―― 2
☆ もくじ ―― 2
☆ 必ずお守りください ―― 3
☆ 各部の名称とはたらき ―― 8

使いかた
☆ はじめて使うとき ―― 10
☆ 床暖房リモコン(Dユカコントローラ)での使いかた ―― 11
☆ 放熱器の運転 ―― 12

故障かな?と思ったら
☆ 故障かな？と思ったら ―― 13
こんなとき 故障ではありません ―― 13
こんなとき ここを調べてください ―― 13
アラーム表示について ―― 14

長くお使いいただくために
☆ 冬期の凍結を予防するには ―― 15
☆ 点検のポイント・お手入れのしかた ―― 17
☆ 寸法図 ―― 19
☆ 仕様 ―― 20
☆ アフターサービスについて ―― 21

必ずお守りください

⚠危 険

屋外用ガス機器

●この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。不完全燃焼を起こし、大変危険です。

⚠警 告

機器設置(および付帯工事)

●この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後に機器を波板などで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

禁 止

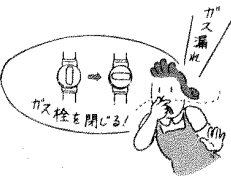
●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

ガス漏れ時の処置

●ガス漏れに気づいたときは、すべての処置が終るまでのあいだ絶対に機器の運転をしたり、機器の近くで電気器具のスイッチの入・切や火を近づけたり、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災になることがあります。

①すぐに使用をやめてガス栓を閉じる。

②お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へ連絡する。

火気厳禁

使用ガス、使用電源について

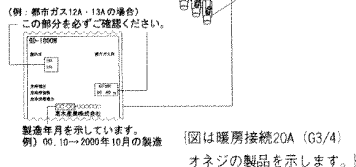
●銘板(機器前面に貼付)に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)の適合を確認する。表示のガスおよび電源が一致しないと使用できない。もし、使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発着火によるやけど、また機器が故障する場合があります。

●転居されたときも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類が一致していることを必ず確かめる。

●わからない場合はお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へ連絡する。

●この機器はAC100V、50/60Hz共用です。

ガス種・電源を確認

〔図は暖房接続20A (G3/4)オネジの製品を示します。〕

分解しない

●修理技能者以外の人による分解、修理・改造は絶対に行わない。異常作動して事故の原因となります。

分解禁止

⚠警 告

火災予防

(可燃物に注意)

●機器および排気口の周囲に燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。

●排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。

(スプレー缶厳禁)

●機器の周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

(引火のおそれがあるものの使用禁止)

●機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。

禁 止

ガス接続について

●この機器のガス管の接続はねじ接続です。接続は配管技能者が行いますので、お買い上げの販売店または、最寄りのガス会社へご相談ください。

異常時の処置について

①万一異常な燃焼、臭気、異常音を感じたときはすぐに使用をやめて、ガス栓を閉じる。暖房リモコンおよび端末機器の運転スイッチも切にしてください。

②本書の「故障かな?と思ったら」(P.13~P.14)に従って処置をする。

③上記の処置をしても直らない場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へ連絡する。

●地震、火災などの緊急のときは使用をやめ、ガス栓を閉じる。

ガス栓を閉じる

⚠注 意

電気事故防止

●電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。

●傷んだプラグ、コードは使わない。差込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

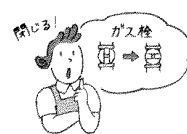
●濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。

禁 止

●電源プラグのほこりは、拭き取る。発火の原因になります。

●コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。

●この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。

アースを接続せよ

やけどに注意

●機器の使用中または使用後しばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。

接触禁止

用途についての注意

●暖房以外の用途には使用しない。思わぬ事故の原因になることがあります。

車両・船舶への搭載はしない

●振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

必ずお守りください

お願い

雷が発生しているときの注意

●雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

●電源プラグをコンセントから抜いた場合、別売のリモコンを取り付けているお宅では、リモコンの各設定を行い、表示を確認したのちご使用ください。

電源プラグを抜け

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

●落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。

長期間使用しないときは

●この取扱説明書P.16の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。（不凍液を使用している場合は、水抜きを行う必要はありません。）

日常の点検・お手入れ

●日常の点検、お手入れをしてください（詳しくはP.17をご覧ください）。

●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。

市販の補助用具について

●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。

用途についての注意

●本製品は家庭用です。業務用にお使いになると著しく寿命が短くなることがあります。

停電時または電源プラグを抜いたとき

●この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。

●再通電したときは、別売のリモコンを取り付けているお宅では、リモコンの設定を行い、表示を確認したあとご使用ください。

別売のリモコンの扱いについて

分解禁止

●リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。

●リモコンには水をかけないでください。

●リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。

使用する暖房水についての注意

●暖房水に地下水や温泉水、井戸水を使用しないでください。機器が破損する原因になります。

凍結についての注意

●凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP.15「冬期の凍結を予防するには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

●機器や配管が損傷した場合、高額の修理費がかかります（有料）。

●凍結したままでは絶対に使用しないでください。

●凍結がとけたあと再使用するときは、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P.10「はじめて使うとき」の項以下の操作を行ってください。

●凍結予防のために電気を使用していますので緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

お願い　設置する場所や状況について

可燃物との離隔距離

●機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、可燃性の部分から十分離して設置してください（不明な点はお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご相談ください）。

給排気について

●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

●排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう施工してください。外壁が変色したりアルミサッシが腐食したりするおそれがあります。

●排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。

禁　止

設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機・ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください（工事担当者とご相談ください）。

●足場などを組んだり、ハシゴ、脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

塩害

●海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

ほこり

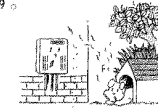
●砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

禁　止

⚠警 告　床暖房についての注意

やけどに注意

●長時間、皮膚の同じところに触れて使用しない。低温やけどの原因となります。
〈次のような方は特に注意〉
・お子様　　　・深酒、疲労の激しい方
・お年寄り　　・皮膚の弱い方
・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方

●乳幼児や身体の不自由な方には付き添いなしでは使用しない。低温やけどのおそれがあります。

禁　止

火災予防

●床暖房の上にスプレー缶、ライター等を置かない。爆発や火災のおそれがあります。

禁　止

必ずお守りください

⚠注 意　床暖房についての注意

床についての注意

床に水などがこぼれたらすみやかに拭きとる

●床面に水、薬品、しょう油などをこぼしたままにしておきますと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、すみやかに拭きとってください。

家具などを直接床に置かない

●床暖房の上に、調度品、家具などを置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生するおそれがあります。

重いものはそのまま置かない

●ピアノなど重量物にはパットなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。

床へは衝撃を加えない

●床が破損し、水漏れのおそれがあります。

床仕上材の上に敷物を敷かない

●木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形、変色することがあります。

ホットカーペットとの併用はしない

●床仕上材が変形、変色するおそれがあります。

床下防腐処理について

●床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので注意してください。

用途についての注意

●床暖房を他の目的に使用しない。
特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など）には使わないでください。

カーペットの張替えについて

●張替えする場合には床暖房専用のものを使用し、床暖房を破損しないように両面接着テープかグリッパーにて固定するようにしてください。釘あるいはびょうで固定するのは避けてください。また、交換を考えて、全面接着することは避けてください。

カーペット以外のものの張替えについて

●仕上材を張替える場合には、お買い上げの販売店または、最寄りのガス会社にご相談ください。

床についての注意

●床暖房を設置している床面に、突起物（釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど）を落としたり刺したりしないでください。水漏れの原因になります。

床暖房を含めた、放熱器についての詳細の警告および注意は、放熱器の取扱説明書にあります。
放熱器に取扱説明書がついている場合はよくお読みください。

各部の名称とはたらき

この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

■機器本体 〔図は暖房接続20A（G3/4）オネジの製品を示します。〕

各部の名称とはたらき

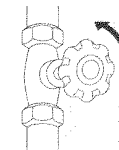
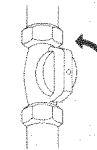
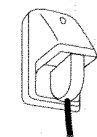
■暖房システム図 （例）

はじめて使うとき

初めてお使いになるときは、
まず屋外にある機器の準備をします。
以下のような手順で準備ができたら、使用できます。

次の確認と準備が必要です

1 この取扱説明書のP. 17に従って
機器や機器周辺の点検・確認を行います。

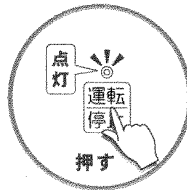
2 給水元栓を全開にします。

3 ガス栓を全開にします。

4 電源プラグを差し込みます。

●給水設備がない場合は、機器上部の補給水口からやかん等で水道水の補給ができます。

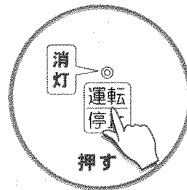
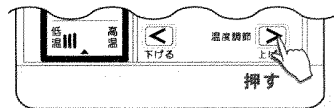
●補給水タンク内の暖房水が一定量以下になると暖房運転が停止します。このとき機器本体の燃焼ランプが点滅表示し、別売温水温度リモコン049-0146型（暖房リモコン:TP-FHR05）を取り付けている場合は「433」のアラーム表示を行います。（→P. 14参照）
給水元栓が全開になっていることを確認してください。
●地下水等は使用しないでください。機器が破損する原因になります。
●やかん等で暖房水の補給を行うときは、ゴミや異物がやかんの中に入っていないことを確認してください。機器の中にゴミや異物が入ると機器損傷の原因になります。

床暖房リモコン（Dユカコントローラ）での使いかた

■床暖房リモコン（Dユカコントローラ）の運転

1 床暖房リモコン（Dユカコントローラ）の運転スイッチを「入」にします。

運転／停止ランプが点灯し、
床暖房運転が開始します。

2 床暖房リモコン（Dユカコントローラ）の運転スイッチを「切」にします。

運転／停止ランプが消灯し、
床暖房運転が停止します。

■温度調節のしかた

温度調節表示は、1回押すごとに1段階増えます。

温度調節表示は、1回押すごとに1段階減ります。

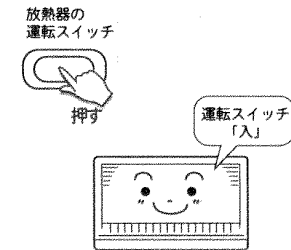
- ●“▲”マークは中間調節の目印です。
- ●9段階の調節が可能です。

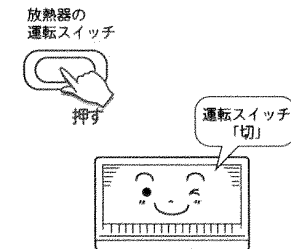
お願い
●使い始めや温度調節の変更を行ったときは、設定温度になるまでに時間がかかります。
●床暖房リモコン（Dユカコントローラ）の操作方法は床暖房リモコン（Dユカコントローラ）の取扱説明書に従ってください。

放熱器の運転

■ファンコンベクターの場合

1 放熱器の運転スイッチを「入」にします。

しばらくしてファンが回り、暖かい空気が出てきます。

2 放熱器の運転スイッチを「切」にします。

放熱器の暖房運転が停止します。

お願い
●その他の放熱器（浴室暖房乾燥機・床暖房等）を使う場合はそれぞれの取扱説明書に従ってください。

故障かな？と思ったら

こんなとき	故障ではありません
寒い日に排気口から白い湯気がでる	冬に、吐く息が白いのと同じように、排気ガスの中の水蒸気が白く見えます。
冬期など寒いときポンプが自動的に回る	凍結予防のため、ポンプが自動的に回っています。
冬期など、暖房を使っていないのに機器が燃焼する	暖房回路の凍結予防のため、外気温が一定温度以下に下がると機器が自動的に燃焼します。異常ではあません。
給水口の水抜き栓から水が漏れる	給水口の水抜き栓は過圧逃し弁をかねています。水圧を逃すために、水が出る場合があります。
床暖房の場合：床面の温度がなかなか暖まらない	床面の暖まり具合は、仕上げ材の種類・床下断熱材や外気温などによって変化します。暖房感が得られるようになるには木質のフローリング、カーペットなどの場合約30分~1時間で、畳、タイル、天然石などの場合、約1時間~2時間の予熱時間が必要です。 別売の温水温度リモコン：049-0146型（暖房リモコン：TP-FHR05）、Dユカコントローラを取付けているお宅ではあらかじめタイマー運転を設定してご使用ください。（設定方法はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。）
床暖房の場合：床面の暖かさが場所によって少し違う	床暖房はパイプ内に温水を循環させて床を暖めており、温水の流れている所とそうでない所では床面の温度に若干の差が発生しますが異常ではありません。
床暖房の場合：床面の足触りが場所によて少し違う	カーペットや防音フローリングなど、柔らかい仕上材では床暖房の固定部分や温水接続部などのため、床面の足触りがかたく感じられることがありますが、異常ではありません。
床暖房の場合：床暖房を使用中に音がする	床暖房を使用しますと、ごくまれに床面で音がする場合があります。これは、床暖房の熱によって床暖房部材および仕上材など床の構造体が膨張・収縮し、その際に発生するものであり異常ではありません。
床暖房の場合：クッションフロアーが部分的に変色している	床仕上材がクッションフロアーシートの場合、長期間ご使用になりますと床表面にちりなどが付着して、変色したように見えることがありますが、異常ではありません。薄めた中性洗剤を含ませた布で拭くと汚れは目立たなくなります。

こんなとき	ここを調べてください
暖房がきかない（ききが悪い）	◎ガス栓が全開になっていますか？（→P10） ◎放熱器の設定温度は適切ですか？（→P11）
機器の燃焼ランプ点灯しない（運転しない）	◎電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？（→P10） ◎停電していませんか？（→P 5） ◎ガス栓が全開になっていますか？（→P10） ◎凍結していませんか？（→P15） ガス栓が全開であることを確認後、放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。
運転中に機器から異常音がきこえる	点検を依頼してください。

それでもわからないときはアフターサービスをお申しつけください

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。
まずは次の点を確認してください。

■アラーム表示について

- ●この機器が故障すると燃焼ランプが点滅し、自動的に運転を停止します。
- ●別売の温水温度リモコン：049-0146型（暖房リモコン：TP-FHR05）には故障診断機能が付いています。熱源機が故障するとその故障原因に応じてリモコンの画面にアラーム番号が点滅し、自動的に運転を停止します。
- ●下記の処置をしても燃焼ランプが点滅しているときは、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。その際、表示されているアラーム番号もお知らせください。

アラーム番号	内容	処置・方法
033	未対応ガス種選択	修理を依頼する
113	点火不良	ガス栓確認後※リセット操作
123	失火	
143	空だき安全装置作動	修理を依頼する
173	暖房回路漏水異常	
313	暖房サーミスタ断線・短絡	
323	凍結予防サーミスタ断線・短絡	
333	低温往サーミスタ断線・短絡	
433	水位電極異常	
513	元ガス電磁弁・ガス電磁弁故障	
543	補給水電磁弁異常	
613	ファン回転異常	
703	電装基板異常 ガス電磁弁駆動回路故障	
723	プリ・ポスト異常	
743	リモコン通信異常	
760	インテリ通信異常	

※リセット操作・・・運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから再び「入」にする。

■こんな場合には安全装置が働きます　（　）はアラーム番号

- ●立ち消え安全装置 ……… バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスを自動的に停止します。
  （フレームロッド方式）（123）
- ●空だき安全装置 ……… 熱交換器が空だきしたときに作動し、燃焼を自動的に停止します。
  （バイメタル式）（143）
- ●過圧防止安全装置 ……… 機器内の水通路内部の圧力が異常に高くなったとき作動し、圧力を水通路外に逃がします。
  （スプリング式）
- ●過熱防止装置 ……… 機器内部の雰囲気温度が異常に高くなったとき作動し、燃焼を自動的に停止します。
  （温度ヒューズ）
- ●漏電安全装置 ……… 万一漏電した場合、電源をＯＦＦにする装置です。
  （漏電リレー）
- ●ファン回転検出装置 ……… 燃焼用ファンモーターが正常に回転しないときに作動し、燃焼を自動的に停止します。
  （回転検出方式）（613）
- ●凍結予防装置 ……… 機器内の雰囲気温が低下すると作動し、機器内の凍結を予防します。
- ●誘導雷保護装置 ……… 雷等による一時的な過電流・過電圧が発生した場合、電気部品を保護します。
  （サージアブソーバー）
- ●空だき防止装置 ……… 暖房タンクが低水位になると自動的に暖房水を補給しますが、万一補給しない場合は自動的に運転を停止します。

冬期の凍結を予防するには

■凍結予防装置による方法

●この機器には、外気温が下がってくると、自動的に暖房タンク内の水（湯）を循環させ、暖房低温燃焼を行い、機器内や暖房配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。通常は機器及び放熱器の電源プラグをコンセントに差し込まれた状態にし、ガス栓を開けておいてください。

お願い

●方法は各放熱器によって異なります。再使用のしかたも含め、放熱器の取扱説明書をご覧ください。
●電源プラグがコンセントから抜かれていると、作動しませんのでご注意ください。
●この方法では、機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、必ず保温材を巻くなどの措置をしてください。

■不凍液による方法

●寒冷地では不凍液を使用してください。不凍液は経年劣化します。毎シーズン初めにお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社にチェックを依頼して、3年に1回交換してください。
●暖房システムの凍結予防のために指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪い影響を与える場合がありますので使用しないでください。
●不凍液は、不凍液の取扱説明書に記載されている方法で正しく使用してください。

凍結したときは

●凍結したときはガス栓を閉じ、使用しないでください。
凍結したままで使用しますと、機器や配管が破損することがあります。
●凍結が解けたあと、水漏れのないことを確認のうえご使用ください。
●取扱説明書にしたがった凍結予防の処置をせずに機器や配管が凍結しますと、高額の修理費用（有料）がかかる場合があります。
●機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理・補修費用は、お客さまの負担になります。

■機器の水を抜く方法（長期不在のとき）

〔図は暖房接続20A（G3/4）オネジの製品を示します。〕

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
●暖房循環回路に不凍液を使用している場合は、水抜きを行う必要はありません。
●不凍液を使用しているか、フロントカバー右下の不凍液注入識別ラベルで確認してください。

⚠注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

1 ガス栓（1）を閉じます。

2 給水元栓（2）を閉じます。

3 水抜き栓（3）（4）（5）（6）を左に回して開けます。30秒程したら水抜き栓（7）を開けます。

4 電源プラグ（8）を抜きます。

再使用する場合

1 水抜き栓（3）（4）（5）（6）（7）を閉じます。

2 給水元栓（2）を開けます。

3 ガス栓（1）を開けます。

4 電源プラグ（8）をコンセントに差し込みます。（自動給水し、停止します。）

お願い

●機器内の水抜きを行った場合は、再び使用するときに水張り作業が必要です。不明な点はお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
●水抜き栓は元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不充分であったり、閉じ忘れたりするとそこから水漏れします。
●水抜き栓の閉じ忘れなどによる水漏れで周囲の壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理・補修費用はお客さまの負担となります。
●水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や放熱器内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント

次の6つのポイントで点検してください。

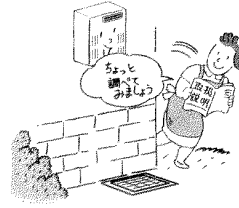
1 機器および配管から水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

2 機器および配管からガスの臭気はありませんか?

3 運転中に機器から異常音がしませんか?

4 機器の外観に異常は見られませんか?

5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか?

6 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により給気口・排気口が塞がれていませんか?
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には給気口・排気口の点検・除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を閉塞するおそれがあるときには、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。

■定期点検のおすすめ(有料)

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご相談ください。

■不凍液の交換

●不凍液を使用している場合、不凍液は経年劣化するため、毎シーズン初めにお買い上げの販売店、またはガス会社にチェックを依頼して、3年に1回交換してください。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、別売のリモコンを分解しない。

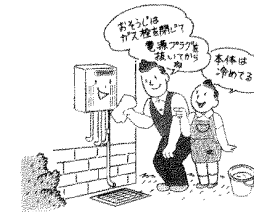
分解禁止

安全に長くお使いいただくために点検とお手入れは定期的に行いましょう。

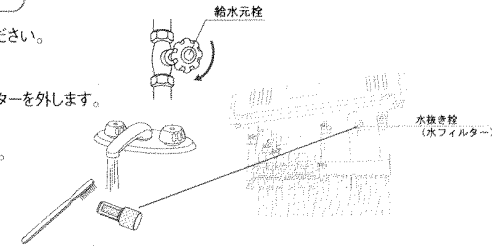
■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

●汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。

●洗剤およびシンナー・ベンジンなどは使わないでください。変形する場合があります。

給水側水フィルターのお手入れ

つぎの要領で定期的に行ってください。

(1) 給水元栓を閉じます。
(2) 給水接続口にある水フィルターを外します。
(3) 水フィルターを洗います。
(4) 水フィルターを元に戻します。

〔図は暖房接続20A(G3/4)オネジの製品を示します。〕

■点検・お手入れ後の確認

●点検・お手入れ後は、機器が正常に作動するか確認してください。
万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。

❗ご注意ください

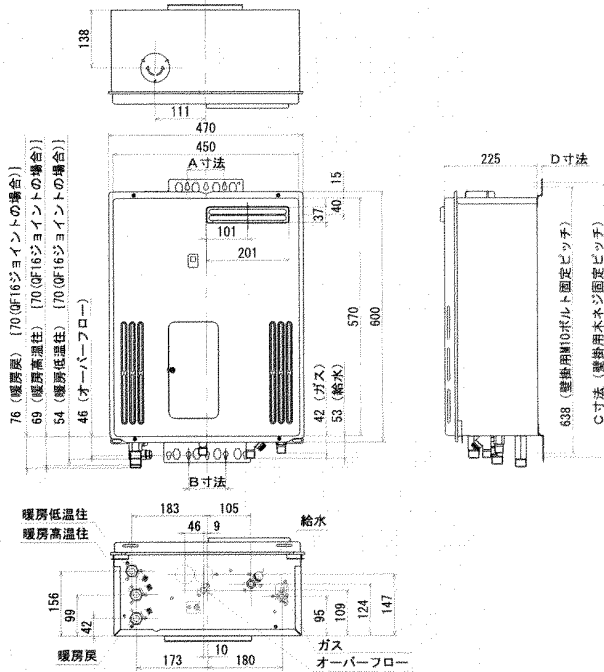
●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。

●リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。

お願い ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

寸法図

■機器本体

（単位：mm）

配管部	配管口径
給水	15A(R1/2)オネジ
ガス	15A(R1/2)オネジ
暖房　往・戻	20A(G3/4)オネジ 又はQF16ジョイント
オーバーフロー	15A(R1/2)オネジ

	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法
通常時	90	90	658	13
絶縁部品使用時	130	148	652	17

仕様

■仕様表

項目		内容
品名		135-9000型,XS-1200ARS-W
型式名		GD-1000W
外形寸法(mm)		高さ600×幅470×奥行225
質量(kg)		28
種類	種類	温水循環方式
	給排気方式	屋外強制給気方式
設置方式		屋外壁掛設置形
点火方式	暖房	AC100V連続放電式（ダイレクト着火）
水圧	使用水圧	100～500kPa
最低作動水圧	暖房	0ℓ／分以上（締切り使用可）
ポンプ機外揚程	暖房	低温側　70／100kPa（8ℓ／分時） 高温側　60／90kPa（8ℓ／分時）
温度制御方式	暖房	電子式ガス比例制御およびON・OFF制御方式
給気ファン制御方式	暖房	強弱　2段切替
消費電力		最大140／190W 凍結予防作動時：最大160／180W
接続	ガス	15A（R1／2）オネジ
	給水	15A（R1／2）オネジ
	暖房	20A（G3／4）オネジ又はQF16ジョイント
	オーバーフロー	15A（R1／2）オネジ
	電気	本体電源　AC100V（50／60Hz）
安全装置		立消え安全装置（フレームロッド方式）　空だき安全装置（バイメタル式） 過熱防止装置（温度ヒューズ）　ファン回転検出装置（回転検出方式） 漏電安全装置（漏電リレー）　空だき防止装置（水位電極） 過圧防止安全装置（スプリング式）　誘導雷保護装置（サージアブソーバー） 凍結予防装置（電気ヒーター＋暖房低温燃焼運転）　過電流安全装置（ガラス管ヒューズ）
付属品		配線一式、取扱説明書、設置工事説明書

■能力表

使用ガス・使用ガスグループ			1時間あたりのガス消費量 kW {kcal/h}	暖房能力 kW {kcal/h}
都市ガス	13A		14.5 {12,500}	11.6 {10,000}
	12A		13.5 {11,600}	10.8 { 9,300}
	6A		14.5 {12,500}	11.6 {10,000}
	5C		14.5 {12,500}	11.6 {10,000}
	L1	7C	14.5 {12,500}	11.6 {10,000}
		6B		
		6C		
	L2	5A		
		5B		
		5AN		
	L3	4A		
		4B		
		4C		
LPガス			14.6 {1.04kg/h}	11.6 {10,000}

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●P.13〜P.14の「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

(1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
(2) 品名:(例) XS-1200ARS-W
(ガスの種類:例えば13A)
(3) お買い上げ日(保証書をご覧ください)
(4) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
(5) 訪問ご希望日

保証について

●この機器には、保証書がついています。
●必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

●この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切り後10年です。ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へお問い合わせください。

長期間使用しない場合

●長時間使用しない場合は次の操作をしてください。

(1) ガス栓を閉じます。
(2) 機器の水抜きを行います。
(水抜き方法は、P.16を参照してください)
(3) 電源プラグを抜きます。

MEMO